

令和 3 年度 牛久市社会福祉協議会 事業報告書

実施事業名	実施内容	実績成果等
I. その人らしい生き方を支援する。		
1. 人が出会い、ふれあえる場の提供 家族や地域の絆を深め、お互いが理解し合い、支え合える場を作り、かけがえのない人の輪を広げる		
(1) 家族や地域をつなげる環境の整備		
①介護者リフレッシュ事業	○介護者の集い ・ 20 名の参加申込みを受け、3 月実施を予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	・ 市高齢福祉課と協議の結果、参加者の安全を考慮し中止とした。
②介護サロンぬくもり	○介護サロンぬくもりの協働実施 ・ 4/12, 5/7, 6/10, 7/12, 10/12, 11/10, 12/10 1/11 は実施 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、8/10, 9/10, 2/10, 3/10 は中止 市役所分庁舎第 1 会議室 ・ 参加者延べ 88 名 ・ 介護の悩みの共有・介護相談等	・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け 4 回は中止したが、ほかは感染予防対策を行い実施することができた。自粛が続く中、この機会に参加者同士交流することでリフレッシュにつながった。
2. 自分自身の表現する場と社会貢献につなげる場の提供 その人らしい生きがいをづくりを支援し、地域において個々の力が発揮できるきっかけをつくる		
(1) 生きがいをづくりの支援		
①盛人の集い	○盛人の集いの開催 ・ 11/20 市中央生涯学習センター文化ホール ・ 参加者 47 名、申込み 74 名、対象者 940 名 ・ 式典・記念講演 講師：小倉洋子氏（元 NHK アナウンサー 演題「人生 100 年時代～地域社会で新たなチャレンジを～」	・ 新型コロナウイルス感染症の影響により内容等変更し、感染防止対策を徹底して実施した。参加者からは、今後地域活動に参加したいという声もいただいた。
②高齢者いきがい活動	○太極拳教室 ・ 毎月第 1.2.3.4 金曜日 ○フォークダンス教室 ・ 毎月第 1.2.3.4 木曜日 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○初心者向け男性料理教室 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	・ 市高齢福祉課と協議の結果、参加者の安全を考慮し中止とした。
(2) 自分の力を地域に活かすきっかけづくり		
①地区社協リーダー研修	○ふれあい便交流会の開催 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により開催は中止し、牛久市買物支援・支えあいのまち	・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、交流会の開催は中止し資料配布のみ行った。移動店舗ふ

実施事業名	実施内容	実績成果等
②一家にひとり地域ヘルパー養成研修	づくり推進協議会メンバーに実績資料の配布のみ行った。 ○地域ヘルパー養成研修の実施 ・開講期間 12/3～12/23 のうちの 4 日間 地域医療連携センター ・修了者 14 名	れあい便は、1 日あたりの平均客単価及び平均利用客数ともに、令和 2 年度と同等であった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた日程を変更し、感染防止対策を徹底して実施することができた。
II.地域住民の生活課題を解決する。		
1. 総合相談・総合支援の充実		
各関係機関・団体等との連携強化を図り、住民の生活課題を早期発見・解決に結びつける仕組みを構築する		
(1) 総合相談窓口の整備と各種相談機関との連携		
①総合相談「あんしんホットライン」の運営等	○専用フリーダイヤル ・常時開設 相談件数 174 件 ○専門相談の設置 相談件数 129 件 【心配ごと相談】 第 1～4 週金曜日 ・主な相談内容は相続、離婚等 【高齢者に関する相談】 随時 ・家族介護や認知症についての相談 ○広報啓発活動の実施 ・各種総合相談チラシ配布	・あんしんホットラインは、市民の身近な相談窓口として、財産管理や相続など様々な相談が寄せられ、相談内容に応じて専門機関等へつないだ。 ・心配ごと相談は、相続や借金、近隣トラブルに関する相談が多かった。
2. 福祉サービス利用支援の充実		
住民の立場に立った福祉サービス利用の援助や、日常生活における課題に対する支援を行う		
(1) 要援護高齢者への支援の充実		
①地域包括支援センター事業	○総合相談支援業務・権利擁護業務 ・新規相談件数 922 件 うち高齢者あんしん電話 95 件 ・延べ対応件数 9,669 件 ○包括的・継続的ケアマネジメント業務 ・介護支援専門員連絡協議会開催 4 回 会員数 135 名 ・多職種連携研修会（オンライン）36 名 ・訪問看護事業所情報交換会実施 6 回 ・グループホーム運営推進会議 22 回 （※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議での代替実施） ○介護予防ケアマネジメント業務 ・指定介護予防支援事業 ケアプラン作成件数 2,348 件 予防給付収入 11,727,862 円 ・介護予防・日常生活支援総合事業 ケアマネジメント実施件数 2,610 件	・高齢者等からの相談について訪問や電話にて対応し、援助の必要な方に適切な支援につなげることができた。 ・地域包括支援センター博慈園と連携を図りながら、高齢者等への支援を展開できた。年々増加する高齢者の相談に対応できるように、より一層関係機関との連携をとっていく。

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>総合事業収入 12,979,370 円</p> <p>○訪問調査事業</p> <p>認定調査件数 167 件</p> <p>認定調査収入 642,950 円</p> <p>②地域ケア個別会議事業</p> <p>③認知症初期集中支援事業</p> <p>④認知症ケア向上推進事業</p> <p>⑤見守り台帳整備事業</p>	<p>・開催回数 3 回 (9・1・3 月開催分新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止)</p> <p>・検討事例数 6 事例</p> <p>・対応件数 6 件</p> <p>・チーム員会議 延べ 11 回</p> <p>・訪問回数 延べ 39 回</p> <p>「未受診の認知症が疑われる高齢者への支援」</p> <p>「介護保険サービス未利用の認知症高齢者への支援」</p> <p>・相談対応件数 93 件</p> <p>・認知症サポーター養成講座 10 回</p> <p>・認知症周知・啓発活動 (中央図書館にて認知症パネル展開催・認知症ケアパス配布)</p> <p>・多職種連携研修会 36 名</p> <p>登録人数 67 行政区 (準行政区含) 4,008 名 (65 才以上高齢者の 16.0%) うち、高齢者世帯数 625 世帯、独居高齢者世帯数 1,360 名</p>	<p>・多職種が専門的視点から検討することで、自立支援、重度化防止のための介護支援専門員のケアマネジメント支援を行うことができた。</p> <p>・専門医に繋がり、家族の協力のもと、定期的な受診や訪問診療で受療が継続できている。</p> <p>・介護保険サービスに繋がりにくいケースも、設定した目標まで初期集中支援チームで関わった後、総合相談で継続対応できる体制ができた。</p> <p>・認知症の人やその家族が暮らしやすい環境整備のために、地域住民への認知症に対する正しい理解の促進と関係機関等との連携がよりよくできるようイベント等を企画し、体制構築を促進できた。</p> <p>・要援護対象者の初動対応時に基本情報の確認や、地域支援者等と連携して、その後の見守り支援に活用することができた。</p>
(2) 障がい者への支援の充実		
<p>① 障害者相談支援事業</p>	<p>●一般相談</p> <p>○利用者数</p> <p>障害児 66 名</p> <p>障害者 224 名</p> <p>○相談件数 3,881 件(児 271 件・者 3,610 件)</p> <p>身体障害 521 件(児 19 件・者 502 件)</p> <p>重症心身障害 171 件(児 48 件・者 123 件)</p> <p>知的障害 687 件(児 70 件・者 617 件)</p> <p>精神障害 2,212 件(児 13 件・者 2,199 件)</p> <p>発達障害 184 件(児 115 件・者 69 件)</p> <p>高次脳機能障害 55 件(児 0 件・者 55 件)</p> <p>難病 1 件(児 0 件・者 1 件)</p> <p>その他 50 件(児 6 件・者 44 件)</p>	<p>・電話及び Web でのモニタリング等の実施や訪問時間の短縮などの感染対策を講じ、事業を休止することなく行うことができた。</p> <p>・コロナ禍で先の見えない状況から、電話相談にて不安等を訴える方も多く、傾聴や助言をとおして、日々の安定につなげることができた。</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<p>○支援方法</p> <p>訪問相談 358 件</p> <p>来所相談 166 件</p> <p>同行 79 件</p> <p>電話相談 2,233 件</p> <p>電子メール・FAX 21 件</p> <p>個別支援会議 53 件</p> <p>関係機関 949 件</p> <p>その他 22 件</p> <p>・市受託金収入 28,439,699 円</p> <p>●特定指定相談</p> <p>○利用実績</p> <p>契約件数 395 件(児 133 件・者 262 件)</p> <p>身体障害 51 件(児 4 件・者 47 件)</p> <p>重症心身障害 23 件(児 11 件・者 12 件)</p> <p>知的障害 178 件(児 64 件・者 114 件)</p> <p>精神障害 66 件(児 1 件・者 65 件)</p> <p>発達障害 63 件(児 51 件・者 12 件)</p> <p>高次脳機能障害 10 件(児 0 件・者 10 件)</p> <p>難病等 4 件(児 2 件・者 2 件)</p> <p>・計画案作成件数 464 件</p> <p>・モニタリング件数 610 件</p> <p>・自立支援費収入 18,418,627 円</p>	<p>・障がいが理由で引きこもり状態になってしまっている方や生活基盤の脆弱等で家族全体の支援が必要な世帯に、関係機関と連携を図りながら支援にあたることができた。</p> <p>・計画相談の新規契約件数は、市内の障害福祉サービス提供事業所が増加する一方、相談支援事業所が減少したため、84 件(児 38 件・者 46 件)となり、昨年度に比べ 38 件の増となった。</p>
(3) 社会的援護を必要とする人の権利擁護		
<p>①福祉サービス利用 援助事業</p> <p>②成年後見サポート センター事業</p>	<p>○相談件数 1,674 件</p> <p>認知症高齢者 490 件</p> <p>知的障害者 241 件</p> <p>精神障害者 849 件</p> <p>その他 94 件</p> <p>○契約件数 34 件</p> <p>認知症高齢者 18 件</p> <p>知的障害者 6 件</p> <p>精神障害者 9 件</p> <p>その他 1 件</p> <p>○新規契約件数 9 件</p> <p>○解約件数 7 件</p> <p>○生活支援員 13 名</p> <p>○相談支援 225 件</p> <p>・初回相談 95 件【高 45.知 7.精 13.他 30】</p> <p>・継続相談 130 件【高 66.知 10.精 27.他 27】</p> <p>○法人後見業務</p> <p>後見 4、保佐 1、補助 0</p>	<p>・契約件数が増加傾向の中で、知的障害者や精神障害者の利用者数が全体の約半数になっている。それに伴い、知的障害者と精神障害者の相談件数が増加した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても相談件数は増加した。特に障がい者に関わる相談が増加し、制度利用以外の生活相談や金銭管理相談も多く見られ</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>③成年後見制度利用促進に伴う中核機関委託事業</p>	<p>○法人後見監督業務 1件（市民後見人）</p> <p>○広報啓発活動 社協広報紙掲載、パンフレット・チラシ配布</p> <p>○支援員活動フォローアップ業務 フォローアップ研修 10/14 11名</p> <p>○運営委員会 6/3、11/25</p> <p>○後見受任審査会 5/21、6/28、12/23、3/9</p> <p>○地域連携ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛久市成年後見地域連携協議会委員 17名 ・牛久市成年後見地域連携協議会 5/24 13名 10/11 15名 ・協議会委員及び組織団体向け成年後見利用促進研修会 9/16 We 研修 30名 オンラインデマンド 54名 <p>○広報機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関及び福祉関係者向け成年後見制度講演会 12/15 19名 ・一次相談事業所紹介チラシ配布 事業所 64ヶ所 金融機関 18ヶ所 ・市民向け成年後見研修会 6月 3回 19名 9月 4回 27名 12月 4回 24名 3月中止 <p>○相談機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 664件 ・チーム形成 22チーム ・チーム支援会議 19回 ・チーム支援対応 235回 ・一次相談事業所連絡会 3回 ・一次相談事業所、福祉事務所を対象とした研修会 基礎研修 11/17 22名 11/25 23名 応用研修 1/27 Web研修 9名 オンラインデマンド 28名 <p>○成年後見制度利用促進機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人等候補者調整会議 5/21 2件、6/28 2件、12/23 3件、3/9 1件 ・市民後見人養成研修修了者向けのフォローアップ研修 11/30 15名 <p>○後見人支援機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見選任後の相談 22件 ・親族後見人向け後見活動勉強会 中止 	<p>た。</p> <p>・牛久市成年後見地域連携協議会において、一次相談事業所の周知方法の検討や成年後見利用促進研修会を実施し、委員や委員が所属する団体等に地域における権利擁護支援の重要性を周知することができた。</p> <p>・一次相談事業所からの相談に対応するとともに、チーム支援会議を開催し、各関係機関と連携を図り、情報共有や課題解決に向け話し合うことができた。</p> <p>・成年後見人等候補者調整会議を開催し、本人に適切な成年後見人等候補者を調整することができた。</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
	○不正防止効果の取り組みに向けた検討 ・各事業に不正防止効果の視点を反映できるように、担当課と打ち合わせを行った。	
(4) 課題解決のための情報提供及び支援		
①生活福祉資金貸付事業 ②小口資金貸付事業 ③歳末たすけ合い配分事業 ④自立相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 460 件 ・生活福祉資金特例貸付 116 件 <ul style="list-style-type: none"> 緊急小口特例 68 件 総合支援資金 27 件 総合支援資金延長 11 件 総合支援資金再貸付 10 件 ・生活福祉資金緊急小口 0 件 ・相談件数 0 件 ・貸付件数 0 件 ・償還件数 0 件 ○在宅援護対象見舞金配布事業 <ul style="list-style-type: none"> ・対象：173 世帯×15,000 円 ○一人暮らし高齢者ふれあい訪問事業 <ul style="list-style-type: none"> ・対象 75 歳以上一人暮らし高齢者 1,605 名 ・配布数 1,563 名 ○生活困窮者の新規相談件数 459 件 <ul style="list-style-type: none"> ・貸付相談 352 件 ・住居確保給付金 23 件 ・就労相談 22 件 ・債務相談 7 件 ・家族問題 1 件 ・ひきこもり 4 件 ・病气相談 4 件 ・食糧支援相談 13 件 ・DV、虐待 1 件 ・その他 32 件 ○自立支援計画(プラン)作成 20 件 <ul style="list-style-type: none"> ・制度等の情報提供 211 件 ・制度利用や支援へのつなぎ 240 件 (うち生活福祉資金特例貸付 116 件) ・その他(対象外) 119 件 ○支援調整会議の実施 (4/16、5/21、6/16、7/16、8/18、9/22、10/20、11/17、12/17、1/19、2/16、3/16) <ul style="list-style-type: none"> ・支援計画決定及び支援終結の承認 ○就労準備支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 1 名 (支援回数 17 回) ・就労準備支援カフェの実施 実施回数 16 回 参加人数延べ 72 名(参加者実数 29 名) 就労相談 21 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス特例貸付の相談及び申請の対応を行った。貸付対応に留まらず、相談者の状況に応じて自立相談支援事業につなぎ、就労支援や家計相談を行った。 ・慢性的な生活費不足により相談に来た方には、生活保護等の情報提供を行い、緊急性がある場合は、食糧支援を行った。 ・ふれあい訪問事業では、新型コロナウイルス感染症の影響からか、身体状況低下等の報告が多く、地域包括支援センターと連携して対応した。 ・新型コロナウイルス特例貸付の相談が多くを占める中で、不安定な雇用状態や生活収支の問題を抱える世帯もあり、就労支援や家計相談を行った。 ・就労準備支援事業の対象者 1 名が就労体験を利用し、就労への意欲を向上することができた。直ちに就労困難な方、家族以外の人との交流が少ない方に、就労準備カフェへの参加を呼びかけ、社会参

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>⑤自立支援金支給事業</p>	<p>就労体験 1 名、就労者数 10 名、他機関へつなぐ 2 名</p> <p>○家計改善支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 3 名 (プラン作成 4 件、支援回数 74 回) <p>○関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所 425 件 (社会福祉課 370 件、子ども家庭課 10 件、医療年金課 15 件、健康づくり推進課 10 件、保育課 2 件、収納課 13 件、税務課 2 件、建築住宅課 3 件) ・ハローワーク 226 件 ・障害者相談事業所 40 件 ・地域包括支援センター 12 件 ・法テラス 5 件 ・その他団体 8 件 ・フードバンクと連携した食糧支援 30 件 (米 183.4 kg、食品 488.7 kg) ・きずな BOX (食品収集箱) への食品提供 (米 823.8 kg、食品 1201.1 kg) <p>○関係機関連絡会議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/21 20 名 中央生涯学習センター ・自立相談支援事業及び生活福祉資金貸付事業の説明、各機関からの情報提供及び情報交換 <p>○自立支援金支給事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者数 171 件 ・相談件数 38 件 ・申請件数 7 件 ・支給決定 4 件 	<p>加の一步となるよう促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計改善支援事業では 3 名の対象者に、月々の生活収支や市税滞納状況など確認し、将来的に自己管理できるよう支援を行った。 ・生活困窮者の早期把握や効率的、効果的な支援に向けて、民生委員児童委員虚位議会、障害者相談支援事業所、地域包括支援センター、市役所各課からの参加により情報を共有することができた。 ・すでに総合支援資金が終了する等、特例貸付を利用できない世帯に相談対応し、求職活動などの要件を満たす 4 名の受給が決定した。

3. ニーズにあったサービスの開発と実施

生活課題の多様化・個別化に対し、関係機関等との連携を図りながら、質の高い福祉サービスを提供するとともに、新しいサービスを開発し実施する

(1) ニーズに即した介護保険事業の展開

<p>①居宅介護支援事業</p>	<p>○利用実績</p> <p>開所日数 294 日</p> <p>契約件数 230 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険 実利用者数 150 名 延べ利用者数 1,562 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比較すると要支援 1、要支援 2 の利用者の割合は減っている(62 名→54 名)が、要介護の利用者の利用割合(延利用者数 1,336 名→1,562 名)が増えていることで、収入は増えている。
------------------	---	--

実施事業名	実施内容	実績成果等
②通所介護事業	<p>介護保険収入 27,152,425 円</p> <p>・介護予防支援 実利用者数 54 名 延べ利用者数 582 名 介護予防支援収入 2,572,097 円</p> <p>・認定調査 認定調査件数 133 件 認定調査収入 526,845 円</p> <p>○利用実績 開所日数 303 日 契約者数 68 名 実利用者数 64 名 延べ利用者数 7,128 名 1 日平均利用者数 23.5 名 介護保険収入 62,220,190 円</p> <p>○行事 牛久アヤマ園散策 (全 3 回) 6 月 24 日 (23 名参加) 6 月 25 日 (25 名参加) 6 月 26 日 (22 名参加) うしく菊花公園散策 (全 10 回) 11 月 1 日 (8 名参加) 11 月 2 日 (11 名参加) 11 月 3 日 (8 名参加) 11 月 4 日 (10 名参加) 11 月 6 日 (7 名参加) 11 月 8 日 (3 名参加) 11 月 10 日 (3 名参加) 11 月 11 日 (3 名参加) 11 月 12 日 (10 名参加) 11 月 13 日 (2 名参加) 新春会 (全 2 回) 1 月 16 日 (20 名参加) 1 月 17 日 (23 名参加) 1 月 18 日 (17 名参加) お花見 (全 6 回うち 3 月に 3 回) 3 月 29 日 (16 名参加) 3 月 30 日 (3 名参加) 3 月 31 日 (9 名参加)</p>	<p>・認定調査は、新型コロナウイルス流行により、更新認定が調査不要の簡易の手順となった期間があったため、市内の利用者の認定調査の実施は通常時より減っている。他市町村分は横ばいとなった。</p> <p>・一日の平均利用者数は横ばいであったが、一人当たりの報酬単価が減少したこと、そして新型コロナウイルスの流行により令和 4 年 1 月と 3 月に合わせて 6 日間の営業休止を行ったことで減収となった。</p> <p>・理学療法士の指導による機能訓練を実施することにより、利用者自身が意欲的に運動を行い、体力や筋力の維持向上につながった。</p> <p>・新型コロナウイルス流行に伴い、行事や外出は実施日を分散して行なった。夏祭りは中止としたが、「牛久アヤマ園」や「うしく菊花公園」の散策、お花見等の季節感を楽しめるような行事は、大変好評だった。</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
③訪問介護事業	<p>○利用実績</p> <p>開所日数 270 日</p> <p>・介護保険</p> <p>契約者数 24 名</p> <p>実利用者数 22 名</p> <p>延べ利用者数 1,437 名</p> <p>1 日平均利用者数 5.3 名</p> <p>介護保険収入 5,554,470 円</p> <p>・障害者総合支援</p> <p>契約者数 32 名</p> <p>実利用者数 30 名</p> <p>延べ利用者数 1579 名</p> <p>1 日平均利用者数 5.8 名</p> <p>自立支援収入 6,874,351 円</p> <p>・移動支援</p> <p>契約者数 15 名</p> <p>実利用者数 12 名</p> <p>延べ利用者数 499 名</p> <p>一日平均利用者数 1.8 名</p> <p>移動支援収入 2,151,045 円</p>	<p>・新型コロナウイルスによる利用控えにより、介護保険事業では昨年度から利用件数は減った状況でほぼ横ばいだが、延利用者数は増加した。(1,121 名→1,437 名)</p> <p>・障害者総合支援の利用者契約者数の割合が前年度と比較し増加(一日平均 3.1 名→5.8 名)している。エールからの依頼が多い。令和 2 年 3 月より常勤職員が 1 名増えたことで、サービスの受け入れが増え、利用者数の増加に繋がっている。</p> <p>・移動支援においては、新型コロナウイルスの流行により外出の機会が減っているため、サービス利用も昨年と同様の状況が続いている。</p>
(2) ニーズに即した障害福祉サービスの展開		
①知的障害者デイサービス事業	<p>○利用実績</p> <p>開所日数 243 日</p> <p>登録者数 66 名</p> <p>実利用者数 64 名</p> <p>延べ利用者数 12,744 名</p> <p>1 日平均利用者数 52.4 名</p> <p>利用者負担金収入 2,618,520 円</p> <p>自立支援費収入 132,675,918 円</p> <p>○就労継続支援事業B型</p> <p>・請負作業</p> <p>マーナ (毎日)</p> <p>老人デイサービス浴室清掃 (毎日)</p> <p>・自主製品</p> <p>パン・クッキー製造 (毎日)</p> <p>名刺印刷 (随時)</p>	<p>・契約者数は、4 月に新規利用者 5 名増となり 66 名の契約者となったが、年度途中でグループホーム入居等で 3 名の利用者減となり、契約者数は 3 月末で 63 名となった。</p> <p>1 日平均利用人数は 1.7 名増となった。</p> <p>・請負作業の収入は増額になった。パン・クッキー活動において、児童クラブのおやつ提供中止が続いたが、ご家族や関係機関等に販売を実施し、収入合計 943 万円になった。</p> <p>・利用者一人あたりの月額平均工賃は、前年度と比較して、実利用者数が減少したため、12,919 円から 13,154 円と増額になった。</p> <p>・パン・クッキー活動において、赤い羽根共同募金寄付付き商品とし</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<p>○自立訓練（生活訓練）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活訓練（集団）（毎日） ・買物訓練（年3回） ※福祉センター自動販売機 ・作業訓練（毎日） <p>○生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援班（毎日） ・創作班（毎日） ・PT（理学療法士）指導（毎日） ・生産活動 ・自動販売機清掃 ・ナイスハートフェスティバル（12/2、12/3） <p>○健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体検査（月1回） ・歯科検診（10/21 27名実施） ・健康診断（12/6 28名実施） ・新型コロナワクチン接種 （1回目 8/3 21名 2回目 8/24 20名 3回目 3/1 28名接種） <p>○行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球（BCリーグ戦）招待（7/25 2名） ・クリスマス会（12/24 57名参加） <p>○相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会（6/21、28、29、30、7/1 実施） 参加者 25名 ・保護者面談（10/11～10/29） 	<p>て、プレーンパン(販売価格 90 円の内 10 円を募金)を販売し、総額 11,170 円のご協力をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練事業においては、将来就労することを想定し、軽作業やパソコンなどの作業訓練、相談や報告など仕事をする上で必要となるコミュニケーションの訓練を行った。今年度は特に、時計を見ながら行動する習慣を身に着けるため、活動前に活動開始時間、終了時間を伝え、時間に対する意識づけを行った。 ・生活介護事業においては、コロナ禍でも体力が落ちないように、理学療法士による訓練及び、活動中に運動に取り組み、身体機能や体力の維持向上を図った。また作業では手先を使った作業にも皆で取り組むことができた。生産活動の収入は自動販売機と作業を合わせ工賃支払い総額が昨年度総額 198,201 円から 204,344 円になった。 ・ワクチン接種については、ご家族からの要望があり、河合医師、健康づくり推進課に協力して頂き実施。

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>②身体障害者デイサービス事業</p>	<p>○日中一時支援事業</p> <p>平日利用延人数 862名 土曜日利用延人数 376名 運営費補助金収入 3,084,264円 利用者負担金収入 342,696円</p> <p>○利用実績</p> <p>開所日数 244日 登録者数 50名 実利用者数 46名 延べ利用者数 3,544名 1日平均利用者数 14.5名 市受託金収入 36,983,531円</p> <p>○訓練活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活訓練及び日常動作訓練 移動訓練 ・機能訓練 OTによる機能訓練（月8回） PTによる機能訓練（月8回） STによる言語訓練（月1回） <p>○生きがい活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作活動及び趣味教養活動（毎日） 籐細工、陶芸、絵画、書道、パソコン等 ・スポーツレクリエーション（週1回） ペタンク、フライングディスク ・健康講座（年3回） 6月トレーニングメニュー再確認、9月感染症対策、1月口腔ケアと嚥下 ・趣味教養講座（年3回） ステンドグラスアート、レジンアクセサリー、フラワーボックス 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の平均利用者数は3.5名。 ・土曜日の平均利用者数は7.5名。 <p>・新規登録は2名だった。利用者様に安心して利用していただけるように、新型コロナウイルス感染症対策を講じていたが、蔓延防止等重点措置の期間や感染者数が多い期間は、利用を自粛される方が多かった。また、入所される利用者様もいたため、1日の平均利用者数は、14.5名となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練活動においては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、買物訓練及び調理訓練を見送った。代替案として両手動作や立位で取り組む創作活動を行い、利用者個人の課題を確認し、日頃の訓練に活かすことができた。 ・機能訓練においては、専門家（OT・PT・ST）の指導により、自主トレの計画・実施・評価を継続的に実施し、生活指導員が個々の生活課題に合わせて、個別訓練の訓練や少人数での運動を行う事で、モチベーションを維持しつつ、機能の維持向上に繋げることができた。 ・陶芸や籐細工等では、上肢や手指の動きを意識しながら、意欲的に取り組むことができた。 ・スポーツレクリエーションでは、利用者同士が楽しみながら、身体を動かすことができた。

実施事業名	実施内容	実績成果等																		
<p>③放課後等デイサービス事業</p>	<p>・作品展への出展 茨城県ナイスハートフェスティバル（12月）出展 18名 受賞 3名</p> <p>・屋外活動 ナイスハートふれあいフェスティバル見学（12/2、12/3 25名） お花見ひたち野さくら公園（3/28、3/29、3/30、3/31 25名）</p> <p>○相談支援</p> <p>○利用実績</p> <table border="0"> <tr> <td>開所日数</td> <td>293日</td> </tr> <tr> <td>契約者数</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>実利用者数</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,926名</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>6.6名</td> </tr> <tr> <td>障害児通所給付費収入</td> <td>17,305,395円</td> </tr> <tr> <td>利用者負担金収入</td> <td>839,118円</td> </tr> <tr> <td>日中一時支援費収入</td> <td>773,055円</td> </tr> <tr> <td>受託事業収入（公費）措置分</td> <td>1,558,270円</td> </tr> </table> <p>○行事</p> <p>ナイスハート美術展見学(12/4 4名参加)</p>	開所日数	293日	契約者数	25名	実利用者数	22名	延べ利用者数	1,926名	1日平均利用者数	6.6名	障害児通所給付費収入	17,305,395円	利用者負担金収入	839,118円	日中一時支援費収入	773,055円	受託事業収入（公費）措置分	1,558,270円	<p>・ナイスハートフェスティバルは、日頃から意欲的に作品作りに取り組み、3名の利用者様が入賞することができた。また、共同作品を制作することで交流を深めながら創作活動を進めることができた。</p> <p>・屋外活動のナイスハートフェスティバルの見学は、感染症対策を考慮し2日間に分散して行った。道の駅かさまで昼食と買い物を楽しみ、利用者様からは久しぶりに外出できて嬉しいなどの喜びの声を聞くことができた。</p> <p>・お花見は、感染症対策を考慮し、4日間7班に分けて実施した。季節を楽しむだけでなく、屋外を歩くことで、利用者様の身体状況の確認も行うことができた。</p> <p>・相談支援においては、相談支援事業所や居宅介護事業所等と連携を行い、生活課題の解決に繋げた。</p> <p>・国際福祉機器展の見学は、新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みて、Web見学に変更し、利用者様と一緒に福祉用具を探した。</p> <p>・契約者数は3名減少。新型コロナウイルス感染症に伴う、特別支援学校の臨時休校や分散登校、他事業所の閉所などの理由で、日中活動の場がなくなる障害のあるお子さんに対して、できる限り利用の受け入れや1日開所での対応を行った。感染者の発生や感染者数の増加に伴う利用控え、濃厚接触者に該当してしまい利用できなくなるなど、利用者数減少の要因もあり、1日の平均利用者数は前年度と同様の6.6名となった。</p>
開所日数	293日																			
契約者数	25名																			
実利用者数	22名																			
延べ利用者数	1,926名																			
1日平均利用者数	6.6名																			
障害児通所給付費収入	17,305,395円																			
利用者負担金収入	839,118円																			
日中一時支援費収入	773,055円																			
受託事業収入（公費）措置分	1,558,270円																			

実施事業名	実施内容	実績成果等
④福祉タクシー利用 料金助成事業	○重度障害者福祉タクシー利用料金助成 ・人工透析 34名 ・その他 97名	・申請者数は、ほぼ定着している。 人工透析の申請が微増傾向である。
⑤補助犬飼育管理費 助成事業	○身体障害者補助犬の飼育経費を一部助成 ・盲導犬利用者 1名	・令和3年度新規事業であり、利用者からは負担が軽減されると喜ばれた。
(3) ニーズに即した児童発達支援事業・保育園事業の展開		
①こども発達支援セ ンター事業	○利用実績 ・開所日数 241日 ・登録者数 201名 ・実利用者数 188名 ・延べ利用者数 4,987名 ・1日平均利用者数 20.7名 ・障害児通所給付費収入 53,623,096円 ・市受託金収入 2,831,400円 ○発達支援 ・小集団指導 延べ3,830名 (内 肢体不自由児クラス 19名) ・個別指導 延べ1,753名 ○家族支援 ・学習・講習 就学説明会、就園おはなし会、 保護者勉強会(全11回) 療育基礎講座(全4回) おしゃべり会(全25回) 延べ121名 ・主な行事 七夕まつり、秋の遠足 ・きょうだい児対応 延べ1,159名 ○地域支援 ・新規相談(インテーク) 82件 ・保幼小への訪問支援 82件 ・公開療育 中止 ・教委巡回相談への協力 18回 ・かるがも教室 21回 療育相談 10件/10回	・前年度と比較し、登録者数21名増、実利用者数9名増、1日平均利用者数3.7名増と、いずれも過去最多の利用実績であった。 ・少子化の中、支援を要する児童や家庭は増えており、コロナ禍ではあったがやり方を工夫し、増加する支援ニーズに対応できた。 ・勉強会やおしゃべり会など家族向けの企画は、人数制限をした上で実施回数を増やし、利用者の参加機会の確保を図った。コロナ禍で子育て支援の場が減っている中、親子で触れ合ったり、保護者同士で交流できる貴重な機会となった。
②ふれあい保育園事 業	牛久ふれあい保育園 ○運営実績 ・本園 130名(定員130名) ・分園 20名(定員20名) ・開園日数 295日 ○特別保育事業 年間延べ人数	・前年度の経験を活かし、コロナ過でも子ども達が安全に活動できるよう配慮し、園内・園外活動を行った。 活動に制限のある中でも、子ども達にとって良い経験ができるよ

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<p>・延長保育事業 2,249名 ・一時保育事業 294名 ○運営費収入 本園 126,838,530円 分園 45,849,640円</p> <p><主な行事> 毎月の誕生会、交通安全指導、食育活動、夏祭り、運動会、りんご狩り、七五三集会、向台小学校給食体験、クリスマス会、発表会、お別れ遠足、卒園式</p> <p>奥野さくらふれあい保育園 ○運営実績 ・84名(定員90名) ・開園日数 295日 ○特別保育事業 年間延べ人数 ・延長保育事業 1,215名 ・一時保育 191名 ○運営費収入 93,995,210円</p> <p><主な行事> 毎月の誕生会、こいのぼり集会、プール開き、七夕、ハロウィン、七五三集会、りんご狩り、クリスマス会、豆まき集会、発表会、ひな祭り、発表会、交通安全教室、卒園式</p> <p>上町ふれあい保育園 ○運営実績 ・本園 127名(定員130名) ・分園 11名(定員12名) ・開園日数 295日 ○特別保育事業 年間延べ人数 ・延長保育事業 2,163名 ・一時保育 39名 ○運営費収入 本園 121,406,430円 分園 27,188,330円</p> <p><主な行事> 毎月の誕生会、季節ごとの集会(端午の節句など)、お楽しみ会(年長児)、交通安全指導、食育活動、園外保育、牛久小学校授業体験、夏まつり、運動会、発表会、クリスマス会、おわかれ遠足、卒園式</p>	<p>う職員間で連携し、保育を見直しながら運営することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別保育事業では、コロナ過の為、まん延防止措置中でも参加できるように Web で配信を行い、楽しんでいただくことができた。 ・令和3年度も地域ボランティアの方に発表会の衣装を作っていただくなど、地域に支えられた保育園となっている。 ・昨年に引き続き新型コロナ感染拡大防止の為、行事等の中止や縮小を余儀なくされたが、子どもたちの成長を考え、様々な工夫を凝らし活動した。保育士の質の向上に重点を置き園内研修や自己評価に力を入れ職員の育成に力を入れた。研修をとおして保育の専門性を高めることが出来た。 ・地域の交流として、おくの地区社協主催によるさつまいも掘りに参加。おくの義務教育学校の生徒との交流もでき地域の保育園として定着してきた。 ・コロナ禍で活動が制限されるなかでも、昨年の経験を活かし、行事は分散・縮小など工夫して行ない、園児も安全に楽しむことができた。 ・地域の伝統や特徴を生かし、和太鼓活動を行っているが、コロナ禍で牛久三中生との合同練習や、夏祭りでの合同演技を行うことはできなかった。しかし、保護者への披露は実現でき、園児の自信へと繋げることはできた。また、練習を通して園児の集中力や忍耐力を養うことができた。 ・保幼小交流はできなかったが、牛久第二幼稚園との交流を行い、就学前に交友関係の広がりをつくることができた。牛久小学校の校

実施事業名	実施内容	実績成果等
		庭で遊んでいると小学生からの声掛けや、一緒に遊んでもらうなど、自然に交流を持つことはできている。

Ⅲ.地域の福祉力を高める。

1. 支えあう心を養う

福祉の心を養い、地域福祉活動への関心を高める環境を整備する

(1) 情報発信による地域福祉活動の活性化

①「こんにちは！社協です」の発行	○社協広報紙の発行 ・6/1号、9/1号、1/1号、3/1号の発行 (各戸及び関係機関配布)	・社協会員募集のお願いや各事業の紹介など、幅広く周知することができた。
②社協パンフレットの配布	○社協パンフレットの作成及び配布 ・社協の主事業をまとめた総合パンフレットの作成及び周知 1,500部	・多くの市民や関係者等に社協パンフレットを配布し、事業の紹介や理解を広められた。
③ホームページによる情報発信	○ホームページの運営及び公開 ・ホームページの活用 ・SNSの活用	・ホームページ及びSNSを随時更新し、社協の情報を発信した。

2. 小地域福祉活動の推進

小地域福祉活動の基盤を整備し、住民主体の活動を支援する

(1) 小地域福祉活動の基盤づくりと活動支援

①地域福祉活動のコーディネート	○地区社協活動への主な支援・協働活動 ・牛久小学区地区社協：住民交流としてたまり場の提供、サロンとまり木の運営 他 ・二小学区地区社協：地区社協ボランティア移送の実施、サロンむつわの運営 他 ・おくの地区社協：一人暮らし高齢者見守り訪問活動の実施 他 ・神谷小学校区地区社協：小学生と高齢者をつなぐふれあい訪問の実施 他 ・向台小学校区地区社協：地区社協ボランティア移送の実施 他 ・岡田小学校区地区社協：1対1の見守り活動、地区社協ボランティア移送の実施 他 ・中根小学校区地区社協：新型コロナウイルス感染症拡大防止の実施 他 ・ひたち野うしく小学校地区社協：防災組織体制の整備、中学生と連携し防災見学 他 ・新型コロナウイルス感染症に関する対応：自粛及び注意喚起のお願い及び関係資料等の提供 10回 ○地区社協会長会議の開催 ・4/9、8/31	・新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区社協とも住民同士の交流活動やイベントなどは中止されたが、コロナ禍における地区社協主体による一人暮らし高齢者の見守り訪問活動等が実施され、地域のつながりを深めることができた。 ・介護予防・生活支援サービス事業の通所型サービスや地区社協ボランティア移送サービス事業の運営については、地区社協と連絡調整を密にし、感染防止対策を徹底して実施することができた。
-----------------	---	---

実施事業名	実施内容	実績成果等
②地区社協活動支援助成事業	<p>○地区社協活動支援助成金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に即した地区社協活動の促進を図り、地域住民による地域福祉の増進に寄与 <p>牛久小学区地区社協、二小学区地区社協、おくの地区社協、神谷小学校区地区社協向台小学校区地区社協、岡田小学校区地区社協、中根小学校区地区社協、ひたち野うしく小学校区地区社協</p> <p>8 地区社協×50 万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金の配分金を活用し、地区社協活動を支援するための助成事業を行い、各地区社協で地域の実情に合った活動が推進された。
③地区社協支援事業	<p>○地区社協活動支援事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協の運営費助成と、地区社協活動を推進するため、地域福祉コーディネーターを設置し、円滑な事業運営を支援 <p>牛久小学区地区社協、二小学区地区社協、おくの地区社協、神谷小学校区地区社協、向台小学校区地区社協 岡田小学校区地区社協、中根小学校区地区社協、ひたち野うしく小学校区地区社協</p> <p>8 地区社協×20 万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協運営費を助成することによって、役員会及び運営委員会など、各地区社協とも円滑な組織運営及び事業が推進された。 ・コーディネーターを設置し、地区社協と連携し、適切な支援が行えるよう体制の充実を図った。
④認知症の人を支えるまちづくり事業	<p>○認知症サポーター養成講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7 小学校 976 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において認知症への理解と支え合いの大切さを伝えた。令和 2 年度新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった学校は今年度二学年行うことができた。今年度も 1 つの学校が実施を見送った。
⑤生活支援体制整備事業	<p>○第 1 層協議体の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援協議会の開催 第 1 回 5/28 19 名 第 2 回 3/11 資料配布 ・第 1 層及び第 2 層合同スキルアップ研修の開催 11/30 59 名 中央生涯学習センター 講演 生活支援体制整備事業の基礎知識と茨城県内の活動状況 <p>○第 2 層協議体の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛久第二小学校区 7/16 9 名、10/27 10 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域生活支援協議会は第 1 回、第 2 層協議体は第 1 回及び第 2 回の実施となったが、コロナ禍における地域福祉活動の状況や各団体等の活動状況等を共有することができた。特に第 2 層協議体では、地域福祉計画及び地域福祉活動計画改定に伴う「地域支え合い懇談会」としてもご意見を伺い、課題や今後の展望など熱心に話された。

実施事業名	実施内容	実績成果等
⑥福祉委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・中根小学校区 7/13 11名、10/18 11名 ・牛久小学校区 7/18 12名、10/28 12名 ・神谷小学校区 7/9 13名、10/22 12名 ・ひたち野うしく小学校区 7/12 10名、10/25 8名 ・岡田小学校区 7/20 12名、10/18 13名 ・向台小学校区 7/12 12名、10/25 11名 ・おくの義務教育学校区 7/15 11名、10/26 8名 ・8地区共通 第3回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、資料配布を実施 <p>○福祉委員会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止し、個別訪問等で内容説明及び資料配布</p> <p>5月18日(火)～5月21日(金)福祉委員宅訪問 ・社協会員の募集依頼について</p> <p>○社協会費 ・一般会費 16,364世帯 7,669,980円 ・特別会費 49世帯 53,000円</p> <p>9月13日(月)～9月17日(金)福祉委員宅訪問 ・赤い羽根及び歳末たすけあい募金協力依頼について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2層協議体は、今年度全8地区の設置に至り、地域や事業所等の情報共有の場として活発に活動することができた。 ・前年比228世帯、274,020円の減となった。
(2) 人や地域がつながる活動の支援		
<ul style="list-style-type: none"> ①地域福祉活動助成事業 ②地区社協ボランティア移送サービス事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○助成金交付審査会の開催 ・6/18 委員5名 ○申請団体10団体 ○助成決定団体10団体・20事業 ○助成額476,000円 ○生きがいサポート協働事業の実施 ・二小学区地区社協 火・金曜日に外出サポート 利用者数：延べ284名 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金の配分金を活用し、障がい者支援や子育て支援など、地域福祉の向上につながるボランティア・市民活動の一助となった。 ・二小学区地区社協、岡田小学校区地区社協、向台小学校区地区社協が通院等の外出サポートを行い、その活動を支援した。新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底して実施した。

実施事業名	実施内容	実績成果等
③ふれあいサロン活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・岡田小学校区地区社協 火・水・金曜日に外出サポート 利用者数：延べ 30 名 ・向台小学校区地区社協 月・木・金曜日に外出サポート 利用者数：延べ 132 名 ○ふれあいサロン設置状況 計 65 か所 <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン 59 か所、回数 1,491 回、延べ 15,273 人 ・子育てサロン 6 か所、回数 27 回、延べ 333 人 ○ふれあいサロン研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアリーダー研修会と合同で実施 12/11 45 名 中央生涯学習センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言中等は活動自粛をお願いした。感染予防対策しながら多くのサロンが活動を再開したが、長引くコロナ禍で解散を決断したサロンもあった。

(3) 住民参加による相互扶助活動の充実

①有償在宅福祉サービス事業	○ふれあいサービス 高齢者世帯及び障害者世帯への掃除や食事づくり等の家事援助 <ul style="list-style-type: none"> ・協力会員登録者 106 名（実動 17 名） ・利用会員登録者 145 世帯（実利用 19 世帯） ・延べ利用回数 310 回 ・延べ利用時間 318.5 時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を一時休止した期間もあった。
②ファミリーサポートセンター事業	○ファミリーサポート 家族が子どもの面倒を見られない時の保育や送迎及び産前産後の家事援助 <ul style="list-style-type: none"> ・協力会員登録者 162 名（実動 18 名） ・利用会員登録者 591 世帯（実利用 27 世帯） ・延べ利用回数 388 回 ・延べ利用時間 512.5 時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、在宅ワークやオンライン授業期間の見守りなどの依頼が増えた。 ・多子や双子のいる世帯の保育補助の依頼が定着した。
③重度身体障害者移送サービス事業	○重度身体障害者移送サービス 車イスの方等一人での歩行が困難な方が通院・社会参加等の際の移送支援 <ul style="list-style-type: none"> ・協力会員登録者 23 名（実動 12 名） ・利用会員登録者 72 名（実利用 18 名） ・延べ利用回数 432 回 ・延べ利用時間 234 時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な活動は、通院及び当事者団体の定例会議等への移送である。社会参加は減少しているが、通院については増加傾向である。

3. ボランティア・市民活動の活性化

活動支援体制を強化し、常に新たなニーズに対応できる、市民に役立つボランティア・市民活動センターの充実を図る

(1) 個々の活動支援と団体相互の連携強化

①育成支援活動	○各種講座の開催	
---------	----------	--

実施事業名	実施内容	実績成果等
②ネットワーク活動	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめてボランティアオンライン講座 4・6・8・10・12・2月の第4木曜日～ 1週間 Youtube で公開 延べ15名 ・NPO 入門講座 7/13 13名 ・親子ふれあい体験 7/11 4家族12名 ・災害ボランティアセンター運営訓練 10/19 30名 ・いばらき県災害ボラセン運営支援システム 研修 3/21 8名 ○福祉教育推進事業の強化及び福祉教育の 活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉体験教室 車イス体験、アイマスク体験、 高齢者疑似体験 小学校4校 延べ478名 ○ボランティア団体等登録状況 登録団体数 233 団体 (4,960 名)、 個人 443 名、 計 5,403 名 ○ボランティア・市民活動団体等との連携・ 協働活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆめまちネット牛久市ボランティア・市民 活動ネットワークの事務局と協働連携 ・ボランティアリーダー研修会 12/11 140名 中央生涯学習センター 基調講演とパネルディスカッション ○施設等ボランティア <ul style="list-style-type: none"> ・11/24 施設等のボランティア担当者研修 会 16 施設 19 名 Web による講演と情報交 換 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンラインによる講座と個別相談を行った。 ・災害ボランティアセンター運営訓練では、市社会福祉課と市防災課職員の参加も得て、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて訓練を実施した。 ・コロナ禍において活動の停滞等により、解散や活動中止の団体がある中、新規に活動をスタートさせる団体もあった。 ・県社協ボランティアアドバイザーを招き、基調講演とボランティア団体のリーダーを交えたパネルディスカッションを行った。 ・今年度初めて Web を活用した研修を行った。参加者からは、ほかの施設の状況がわかり、これからの活動に活かされると好評だった。
(2) 新たなニーズにも対応できる機能の整備と充実		
①相談・あっせん活動 ②センター機能充実	○センター設備及び相談窓口の整備 ○活動に関する需給調整 ボランティア相談件数 122 件 紹介件数 17 件 ○運営委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・5/19、3/9 (書面決議) 研修 10/13 Web による意見交換 ○ボラセンニュース(市内回覧)発行 <ul style="list-style-type: none"> ・5/1、7/1、9/1、11/1、2/1 ○ホームページの運営	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のボランティア受け入れの縮小やイベント中止などを受けて、紹介件数が減少した。 ・多くの方に当センターを利用いただき、ボランティア活動に参加してもらおうよう、ホームページや SNS を活用した広報活動も行った。
IV.役に立つ組織に再構築する。		

実施事業名	実施内容	実績成果等
1. 職員教育の徹底 職員研修の充実を図り、住民の視点に立った地域福祉の推進役となる専門性を持った職員を育成する		
(1) 計画的な職員の育成		
① 計画的な職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種専門研修への参加 ・ 内部研修の実施 ・ 計画的な職員採用 法人説明会 4/10,4/22,5/13,5/25,6/11, 6/22, 11/25,12/15,の 8 回開催 採用試験 7/17,10/23,1/22 の 3 回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人広告サイトを利用したの職員募集や採用試験受験予定者を対象とした法人説明会を 8 回開催し社協事業 PR を行った。また新卒学生、既卒者向けの職員採用試験を年 3 回実施し、令和 4 年 4 月採用となる 6 名の専任職員を採用した。
2. 安定した財源の確保 コスト意識を徹底し、効果的で効率的な自律した経営に努める		
(1) 積極的な財源の確保		
① 自主事業の効率的運営及び拡充 ② 会費の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険事業、障害者支援事業、牛久ふれあい保育園、奥野さくらふれあい保育園、上町ふれあい保育園の拠点区分ごとに自主事業を運営 ・ 市内法人を訪問し、社協法人会員への協力を依頼 277 社 (2,858,000 円)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の参加意欲を促すような内容を取り入れた事業展開を図るとともに、常にコストを意識した事業運営に努めている。 ・ 前年度対比、10 社 (5,000 円)の減となった。
3. 計画の進行管理 この計画の進捗状況を確認し、進行を管理する		
(1) 理事会による進行管理		
① 理事会による進行管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 理事会 ○ 第 1 回 5 月 27 日 (木) <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度一般会計補正予算(第 9 号)専決処分の報告 ・ 令和 2 年度事業報告 ・ 令和 2 年度一般会計収入支出決算監査報告 ・ 定款の改正 ・ 事務局規程の改正 ・ 評議員選任解任委員の選任 ・ 評議員候補者の提案 ・ 第 1 回評議員会の書面による決議 ○ 第 2 回 6 月 24 日 (木) <ul style="list-style-type: none"> ・ 会長副会長常務理事の選任 ・ 令和 3 年度一般会計補正予算(第 1 号 2 号) ○ 第 3 回 3 月 15 日 (火) <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 3 年度一般会計補正予算(第 3 号,第 4 号,第 5 号,第 6 号,第 7 号)専決処分の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度の事業報告及び、決算報告を行った。 ・ 評議員の任期満了に伴う、評議員候補者として 43 名を評議員選任解任委員会に提案した。 ・ 会長に根本洋治氏、副会長に内藤雪枝氏と石野雅昭氏、常務理事に岡見清氏の選任を行った。 ・ 知的障害者デイサービスの定員について、生活介護事業を 15 名か

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画 ・令和4年度一般会計収入支出予算 ・就業規則の改正 ・知的障害者デイサービス運営規程の改正 ・評議員選任解任委員の選任 ・役員等賠償責任保険契約の締結 ・第2回評議員会の書面による決議 <p>●評議員会</p> <p>○第1回 6月11日(金)書面決議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度一般会計補正予算(第9号)専決処分の報告 ・令和2年度事業報告 ・令和2年度一般会計収入支出決算監査報告 ・定款の改正 ・役員を選任 <p>○第2回 3月24日(木)書面決議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度一般会計補正予算(第3号,第4号,第5号,第6号,第7号)専決処分の報告 ・令和4年度事業計画 ・令和4年度一般会計収入支出予算 ・就業規則の改正 ・知的障害者デイサービス運営規程の改正 <p>●評議員選任解任委員会</p> <p>○第1回 5月27日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任 	<p>ら19名に、就労継続支援事業を39名から34名に変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による決議とした。 ・役員任期満了に伴い、理事15名及び監事2名の承認をいただいた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による決議とした。 ・評議員任期満了に伴い、各団体等からの推薦書に基づく理事会の提案により、43名の評議員の選任を行った。
<p>4. 適切な法人運営、事務局運営</p>		
<p>地域住民とともに住みよいまちづくり実現を目指すための組織、運営体制の整備に努める</p>		
<p>(1) 事務局運営体制の整備</p>		
<p>① 効率的な事務局運営</p>	<p>○一般寄付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金 38件 740,938円 ・物品 37件 電子ピアノ・毛布・タオル等 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や介護保険事業等で活用できる、実用的な物品を多数ご寄付いただいた。
<p>(2) 情報発信機能の充実</p>		
<p>① 効果的なパブリシティの促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社協活動や福祉活動の情報を、社協広報紙(年4回)、パンフレットの配布(年1回)、地域かわら版(毎月)、ホームページ運営、SNS活用(随時更新)、FMうしくうれしく放送により市民の方々へ情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる情報提供により、市民の皆様に最新の情報提供が行えている。 ・FMうしくうれしく放送で「社会福祉協議会だより」のコーナー(毎週1回)を設け、社協職員による事業紹介を行っている。

